

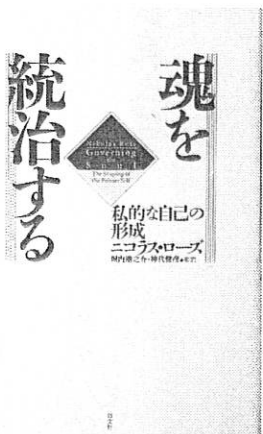
魂を統治する

私的な自己の形成

ニコラス・ローズ著

堀内進之介、神代健彦監訳

へ心的なものの学問諸領域と心的なもの
の専門知は、「統治可能な諸主体」
を構成するうえで鍵となる役割を果
たしてきた。ヒューマン・テクノロジー
に代表される「心的なもの」の科学が
いかに人間の主体形成を促し、その
統治に寄与してきたのか。本書は「心
と魂」にまつわる感情が政治的・社会
的に人々の行動を方向付けるように機
能すると位置づけ、統治と心理をめぐる
権力構造を批判的に考察した現代社会論。
ここではM・フーコーの「主体性の系譜学」
をベースに、戦争の心理学と軍隊、職
場における労働者、家族と子ども、新
たな自己概念という四つの領域を設定し、
「魂」の自由の意味を問う。



B6判 / 505頁 / 4800円
以文社